

研究へのご協力のお願い

研究課題名「介護保険施設における経口維持管理に関する実態調査」

(介護保険施設における安全な経口摂取継続のための取り組みに関する実態調査)

東京歯科大学 パーシャルデンチャー補綴学講座

研究責任者：講師・大平真理子

この度、東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座において下記の内容にて研究を行うこととなりました。本書面をご一読いただき、本研究の趣旨、内容をご理解いただけましたら、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご自分のデータを使用されたくない場合は、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出をお願い致します。それによって患者様が不利益な扱いを受けることはございません。

1. 研究目的と意義

東京歯科大学および高根病院では「介護保険施設における経口維持管理に関する実態調査」という研究を、これから開始いたします。東京歯科大学および高根病院では2016年から東京都内と千葉県内の介護保険施設（介護老人保健施設と特別養護老人ホーム）において、安全にお口から食事を取ることを目的とした取り組み（経口維持支援）を行っています。これまでわれわれは、患者様のお食事場面を、歯科医師、施設看護師、介護士、栄養士、言語聴覚士といった多職種で患者様の飲み込みの機能（摂食嚥下機能）を評価し、それぞれの患者様にあったお食事の提供や環境の整備を行う取り組み（ミールラウンド）を行ってきました。患者様の診療録（カルテ）から、これまでの取り組みに関する情報を収集し解析することで、現在行っているミールラウンドの実態把握や、より効果的な方法の確立を本研究の目的とします。

2. 研究方法

<この研究にご参加いただく方>

2016年11月1日から2022年11月30日までに東京歯科大学と高根病院の訪問歯科診療で飲み込みの評価（摂食嚥下機能評価）を受け、診療録が保存されている患者様で、90名ほどを予定しています。

<この研究の実施内容・方法>

診療録を確認させていただき、患者様の食事に関する項目について記録を収集します。ミールラウンドの前後での変化の有無の調査を行います。

<ご協力いただく事項>

診療録に記載されている患者様の背景情報（年齢、性別、要介護度、病歴、服薬情報）、食事の状況（食形態、食事摂取方法、食事時の問題点）、嚥下機能の評価方法、問題点に対する対応策といった情報を収集します。

<研究期間>

本研究の実施期間は、2023年1月17日～2026年3月31日です。

3. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

本研究は、過去の診療録を調査する研究ですので、患者様に新たな負担は生じません。また、本研究成果により高齢者の経口維持支援や歯科医療の発展に貢献できると考えます。

4. 個人情報等の取扱い

診療録から収集した情報は、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別することができないよう加工した上で解析に使用します。個人を特定する情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。情報は施錠した状態で、情報管理は研究責任者が責任を持って行います。収集した情報は研究終了後5年間保管の後に廃棄します。本研究のために得た情報は他の目的には利用しません。

5. 研究に関する情報公開の方法

<研究計画書の開示>

患者様が希望された場合、他の患者様の個人情報を保護した上で、研究計画書および研究に関する資料を閲覧することができます。ご希望される場合は、下記の研究責任者までご連絡ください。

<研究成果の公表>

日本老年歯科学会および日本摂食嚥下リハビリテーション学会において、研究成果を発表予定です。発表にあたり、患者様個人が特定できるような情報は一切公表いたしません。

<研究に不参加の場合>

この研究への参加について、患者様が拒否する機会を保障されています。

6. 倫理審査委員会の承認

本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

7. 費用等に関すること

本研究に際し、患者様の費用負担はありません。また、本研究にご協力いただくにあたり、謝礼はありません。本研究に公表すべき利益相反関係の企業はありません。

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡ください。

お問い合わせ先

東京歯科大学 パーシャルデンチャー補綴学講座
研究責任者（試料・情報管理責任者） 大平真理子
連絡先 03-6380-9167